

やまがた地方創生インターンシップ事業業務委託公募型プロポーザル審査要領

1 審査・選定方法

- (1) 審査員は「やまがた地方創生インターンシップ事業業務委託公募型プロポーザル審査委員会設置要領」に定める審査委員とする。
- (2) 審査は書類審査（必要に応じてプレゼンテーションを実施）により行う。
- (3) 審査項目・配点は別表のとおりとする。
- (4) 審査項目は、別表で掲げる項目ごとに、2で定める配点基準に従い評価し、採点を行う。
- (5) 各審査委員の評価点の合算が最高点の提案者を最優秀提案候補者とし、各審査委員の合議により最優秀提案者を選定する。また、必要に応じ次点者を選定する。ただし、最高点の者又は次点者が複数いる場合は、審査委員の合議により決するものとする。
- (6) 提案者が1者のみの場合でも、各審査委員の評価点の合算が90点以上で、提案内容について契約の目的を達成できると判断できるときは、各審査委員の合議の上、当該者を最優秀提案者として選定する。

2 配点基準及び採点

50点満点として、個別の配点基準は別表とし、配点は下記を目安とする。

優れている	やや 優れている	普通	やや 劣っている	劣っている
5	4	3	2	1
10～9	8～7	6～5	4～3	2～1
15～13	12～10	9～7	6～4	3～1

別表（審査項目、審査視点、配点）

	審査項目	審査視点	配点
1	実施体制及び事業実施のスケジュール	事業を実施するに当たり、適切な人員配置計画となっているか、無理のないスケジュールとなっているか	10
2	インターンシップ受入促進に向けた企業支援	企業のインターンシップ受入促進及び採用力向上につながる支援内容となっているか。また、支援企業へのフォローアップは適切に行われているか。	15
3	学生向けセミナーの開催	参加者がインターンシップの意義や県内で働くこと及び県内企業の魅力等を十分に紹介できる内容となっているか	5
4	学生と企業若手社員とのトークイベントの開催	参加者に県内企業の魅力を紹介し、理解を深めてもらうとともに、山形で働く・暮らすイメージを持ってもらえる内容となっているか	5
5	事業の周知（特に学生に対する周知・広報）	事業の周知（特に、学生に対するインターンシップ希望者の募集及びセミナー参加者の募集）は効果的か。	5
6	この事業で得た情報のセキュリティについて	情報のセキュリティ体制は十分なものになっているか	5
7	経費積算の妥当性について	経費の積算内容に不備、不適切なものはないか	5
合 計			50